

Towa輪kakehashi

かけはし

Four Seasons News Letter 2026 winter

本年も
社会医療法人東和会を
よろしくお願いいたします

- 新年のご挨拶
社会医療法人東和会 理事長 大西 恭子
- News&Topics

- 眼科、小児科医師のご挨拶
- 次回の市民公開講座 ご案内

2026年 新年のご挨拶

新春を迎え、先生方におかれましては、益々
ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。

市民の皆さまが住み慣れた地域で安心して医
療を受け、生活を続けていくためには、診療所
と病院がそれぞれの役割を果たしながら、密接
に連携していくことが何より重要であると考え
ております。先生方に日々お支えいただいている
おかげで、急性期医療から在宅医療まで、切れ
目のない医療提供体制の構築を進めることがで
きておりますこと、心より感謝申し上げます。

第一東和会病院をはじめとする東和会グルー
プでは、救急医療や急性期医療、回復期医療、
専門的治療を担う一方で、退院後の生活や在宅
療養を見据えた医療連携にも、よりいっそう力
を入れてまいります。地域の先生方からお寄せ
いただくご意見やご要望は、私共にとって大変
貴重な指針であり、今後も顔の見える関係を大
切にしながら、迅速かつ柔軟な対応を行ってま
いります。

本年も、先生方と共に地域医療を支える一員
として、信頼される医療連携の実現に努めてま
いります。引き続きご指導、ご支援を賜ります
よう、何卒よろしく願い申し上げます。

2026年が皆さまにとって実り多き1年となり
ますことを、心よりお祈り申し上げます。本年
もどうぞよろしく願い致します。



社会医療法人東和会 理事長

おおにし きょうこ

大西 恭子

眼科医師からのご挨拶

専門性を活かした質の高い診療を通じて 地域に貢献する眼科医療を

第一東和会病院 眼科

山本 有貴 (やまもと ゆき)
Yuki Yamamoto

着任のご挨拶

この度、2025年8月より着任いたしました山本有貴（やまもと ゆき）と申します。

私は和歌山市で生まれ育ち、地元の智弁和歌山高校を卒業いたしました。その後、2011年に九州大学を卒業し、2013年に大阪大学眼科学教室に入局いたしました。以降、住友病院や兵庫医科大学病院での勤務を通じ、網膜・黄斑疾患を専門として研鑽を積んでまいりました。

今回、ご縁があって、ここ高槻の地で勤務させていただくこととなりました。

専門性を活かした幅広い眼科診療

私の専門である網膜・黄斑疾患の診療および白内障手術については高度な専門性をもって対応するとともに、その他の分野においても、兵庫医科大学病院をはじめとする各分野専門医のご協力を得て、質の高い診療に対応しております。

硝子体手術、緑内障手術、涙道疾患、眼瞼手術に至るまで、大学病院レベルの高度で専門的な治療を当院で提供することが可能です。低侵襲な手術を積極的に取り入れ、患者さまの身体的・精神的負担を最小限に抑える体制を整えております。

常勤3名体制、より充実した診療体制へ

2026年1月より新たに湯川医師が加わり、眼科は常勤3名体制となりました。常時2診体制となることで、外来・手術ともに、より安定した診療を提供できる体制が整いました。今後も、地域

の先生方や患者さまに安心してご相談いただける眼科診療を目指してまいります。

生涯にわたる視機能維持を目指して

私は「眼に身体よりも長生きしてもらう」ことを診療の理想として掲げております。人生100年時代と言われる現代において、視機能の維持はQOLの根幹を成すものです。患者さまが「年のせいかな」と諦めてしまう前に適切な介入を行い、生涯にわたって視機能を維持することを目標としております。



先生方との「顔の見える」連携を大切に

医療の充実とは、何よりも近隣の先生方との信頼関係があってこそ成り立つものです。「手術が必要か迷う」「一度詳しく検査してほしい」といった患者さまや、免許更新を控えてお困りの患者さまなど、どのようなご相談でも構いません。まずは気軽にお声掛けいただける、相談しやすい存在でありたいと考えております。

先生方との緊密な連携を通じて、この地域の皆さまが「ここで診てもらえて良かった」と感じていただける医療体制を構築してまいります。

若輩者ではございますが、今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

小児科医師からのご挨拶

小児科診療体制が新たにスタート 心身症にも対応する幅広い診療へ

第一東和会病院 小児科

太田 佳隆 (おおた よしたか)
Yoshitaka Ota

着任のご挨拶

2025年10月より、第一東和会病院小児科に着任いたしました太田 佳隆 (おおた よしたか) と申します。私はこれまで、感染症や急性期疾患を中心に研鑽を積んでまいりました。出身は京都府ですが、私にとってこの高槻は中学・高校時代の6年間を過ごした、大変思い入れの深い土地であり、かつて学び舎のあったこの地域で、今度は医師として地域医療の一翼を担えることに、深い縁と大きな喜びを感じております。

また、先生方と共に子どもたちの成長を見守る仲間に加わることができ、非常に身の引き締まる思いです。

当科の診療について

当科の診療体制としましては、風邪や胃腸炎などの一般小児科診療や感染症対応はもちろんのこと、予防接種にも力を入れております。昨今の複雑化した接種スケジュールを適切に管理し、保護者の方が安心して子育てに臨めるよう、丁寧な説明と迅速な対応を心がけております。

また、当院ではCT検査、MRI検査も可能であり、大規模病院との橋渡しの役割も担える体制が整っております。

起立性調節障害、心身症の治療について

私の専門領域として特に注力しているのが「起立性調節障害 (OD)」の診療です。昨今、不登校のお子さまは年々増加傾向にあります。その

うちの約40%が背景にこの疾患を抱えているという報告もあります。「朝起きられない」「立ちくらみがする」といった身体症状の裏には、自律神経の乱れだけでなく、環境の変化や心理的なストレスが、複雑に影響していることも少なくありません。

丁寧な診断を心がけ、より高度で専門的な精査が必要と判断した場合には、大阪医科薬科大学病院とも密な連携を取りながら、迅速にご紹介できる体制を整えております。



さらに昨年末、当院に公認心理師を新たに迎えました。これにより、これまでの医療的なアプローチに加え、専門的な心理検査の実施によるお子さまの特性の客観的な把握や、言葉の遅れ・集団生活への不安といった発達に関するお悩みへのカウンセリングが可能となりました。

起立性調節障害の診療においても、心理師と連携することで、お子さまの心と体の両面を、より多角的かつ手厚く支えてまいります。

* * *

子どもの健康問題は、単なる病気だけではなく、学校生活や家庭環境など多岐にわたる背景を持っております。先生方のクリニックに通われている

お子さまの中で、発達の特徴が気にかかる場合や、不登校傾向にあり、専門的な検査を検討したいといったケースがございましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

地域の小児医療とともに

先生方が築いてこられた患者さまとの信頼関係

を大切に引き継ぎ、当院の専門性を活かしたサポートを提供できればと考えております。

新参者ではございますが、地域の小児医療の質をさらに高めていけるよう尽力してまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



公認心理師による 知能検査・心理検査・ カウンセリングのご案内

こんなお子さまにおすすめです

- 発達について心配がある
- 学校生活や集団生活に不安がある
- 学習面でのつまずきが気になっている
- 気分の落ち込みや不安が続いている
- 体調不良や登校しづらさがある

検査について

- 公認心理師が、知能面・心理面について客観的な評価を行います。
- 本検査は、診断を確定するものではなく、現在の状況や特性を整理し、今後の支援や関わり方を考えるためのものです。

カウンセリングについて

- 乳幼児についてはNDBIs（自然な発達の行動介入）を中心とした個別療育支援を行います。
- 児童期以降のお子さまについては認知行動療法を中心としたカウンセリングを行います。
- お子さまとのよりよい関係作りを学ぶために、保護者も対象にしたペアレントトレーニングやケアを実施してまいります。

実施日時

- 第2、第4月曜日（1時間程度）
9：00～12：00、13：30～16：30
※ 事前のご予約が必要です。



社会医療法人 東和会
第一東和会病院

電話予約はこちらまで▶

☎ 072-671-1118

News & Topics

第2回東和会グループ 学術大会を実施！

10月25日、地域課題や医療・介護の将来を見据えた取り組みを、グループ内で共有することを目的に東和会学術大会を実施しました。



テーマを「次世代の医療・福祉を担う 東和会の挑戦」とし、高槻城公園芸術文化劇場、北館の中ホールと展示室の2つの会場で、6つのセッション、24の取り組みが発表されました。本大会を通じて、グループ内の病院・施設・訪問看護・在宅支援など、各事業所が持つ知見や経験を持ち寄り、互いの強みを学び合い、次代の地域包括ケアを支える力を養いました。

東和会グループ11名が大阪病院学会で発表

11月9日、グランキューブ大阪で開催された「第23回大阪病院学会」に、東和会グループから11名が登壇しました。



看護・薬剤・リハビリテーションなど、テーマごとに16会場で発表が行われ、そのうち4名が優秀演題に選ばれるという大きな成果を収めました。学会終了後には『おつかれさま会』を開催し、長期間にわたり準備を重ねてきた発表者と、それを支えたチームの皆さまへねぎらいの言葉が贈られました。今回の学会で得た学びや気づきを、日々の業務改善や医療の質向上に活かすとともに、今後も東和会グループは積極的に挑戦を重ねてまいります。

■発表者と演題

- 第一東和会病院 地域連携室 松本 祐真
「登録医と当院のプライムの強化に向けての取り組み」
- ★第一東和会病院 薬剤部 蔦谷 敬之
「敗血症性ショックに対して早期にNSTが介入し、栄養状態改善に繋がった一例」
- 第一東和会病院 臨床検査科 原田 菜央
「家族性高コレステロール血症の超音波法によるアキレス腱厚測定が有用であった一症例」
- 第一東和会病院 総務課 谷川 仁志
「当院における有事連絡体制の整備とIT-BCP訓練について」
- 第一東和会病院 看護部 田中 まゆみ
「意識調査に基づいた指導と看護サマリー作成」
- ★第二東和会病院 リハビリテーション科 横川 莉子
「人工膝関節全置換術後患者に対し外来リハビリテーションにて歩容改善を目指した症例 ～膝蓋下脂肪体に着目して～」
- 第一東和会病院 放射線科 西村 太一
「東和会STAT～画像を通じて医師とチーム医療の現状～」
- ★第一東和会病院 看護部 植木 美枝子
「当院における尿道留置カテーテルの適正使用の実態について」
- 第二東和会病院 地域連携室 振 鮎美
「退院支援の実態と課題
～地域包括ケア病棟での退院支援を通して～」
- ★第二東和会病院 看護部 光谷 文枝
「共通ツールを活用した効率的かつ効果的な口腔ケアの実践」
- 第一東和会病院 看護部 岩谷 翔太
「羞恥心を伴うケアへの看護師の思いと実施状況
～異性患者との関わり方について～」

※★マークは優秀演題

新入職医師のご紹介

10月入職

第一東和会病院 泌尿器科

つちだしゅうや

土田 修也



■経歴
2021年 大阪医科大学卒業
2021年 大阪医科大学薬科大学
2024年 敬仁会病院
2024年 北摂総合病院
2025年 守口敬仁会病院
2025年 第一東和会病院

これまでの泌尿器科の先生同様に精一杯頑張ります。

1月入職

第一東和会病院 眼科

ゆかわ ちえ

湯川 知恵



■経歴
2013年 筑波大学卒業
2013年 筑波大学附属病院
2017年 宮田眼科病院
2019年 水戸済生会総合病
2024年 おおしま眼科クリニック
2026年 第一東和会病院

患者さま一人ひとりに寄り添い、
安心して受診いただける診療を心がけてまいります。

- 日本眼科学会認定 眼科専門医
- 日本眼科学会眼科ボトックス療法認定医

1月入職

第一東和会病院 麻酔科

さが けいこ

嵯峨 慶子

■経歴
1999年 秋田大学卒業
1999年 山形県立中央病院
2002年 京都大学医学部付属病院
2002年 大阪赤十字病院
2007年 京都医療センター
2018年 京都下鴨病院
2024年 千春会病院
2026年 第一東和会病院

安心・安全な麻酔を心がけています。

- 厚生労働大臣認可 麻酔科標榜医
- 日本麻酔科学会認定 麻酔科認定医
- 日本専門医機構認定 麻酔科専門医
- 日本麻酔科学会認定 麻酔科指導医

1月入職

第一東和会病院 皮膚科

いまむら ありさ

今村 有沙



■経歴
2023年 川崎医科大学卒業
2023年 関西医科大学病院
2025年 大阪医科大学薬科大学病院
2026年 第一東和会病院

患者さまのお悩みに真摯に向き合い、
より良い医療を提供して参りたいと思っています。

第23回 地域連携の会 ご案内

第23回地域連携の会を下記の日程で開催致します。先生方のご出席をお待ちしております。

日時 2026年6月27日(土)
講演会 16:00～ 懇親会 17:00～

場所 グランヴィア京都

詳細については後日、案内文書を送付いたします。

お問い合わせ：第一東和会病院地域連携室 TEL：072-671-1118（直通）



昨年度の会場の様子



市民公開講座のご案内

会費無料
先着270名

脳梗塞・脳動脈瘤・認知症からあなたを守る
～MRIで隠れた脳の異変を早期発見！～

日時 2026年3月28日(土) 10:00～11:30

場所 高槻市立生涯学習センター
(多目的ホール)

講師 第一東和会病院 脳神経外科 片山 義英 医師



第一東和会病院 診療統計 月平均

2025年10月～2025年12月			
新入院患者数	650.0	全身麻酔件数	264.3
1日平均入院患者数	210.0	紹介件数	1004.0
病床利用率	86.4	外来紹介患者件数	763.6
平均在院日数	9.8	入院紹介患者件数	309.6
1日平均外来患者数	653.9	地域支援病院 逆紹介件数	553.6
救急搬送受入患者数	388.7	地域支援病院 紹介件数	630.6
手術件数	403.7		



社会医療法人東和会 理念

私たちは「愛」と「和」の精神を大切にします。

そして患者さまの人権を尊重し、「地域のみなさまに信頼され、愛される病院」を目指します。

Towa kakehashi

発行 / 第一東和会病院 発行日 / 2026年1月30日

編集 / 第一東和会病院 総務課 広報企画係

今号掲載の職員の所属部署については取材時のものです。

■お問い合わせ 地域連携室

第一東和会病院 TEL：072-671-1118（直通）

※受付時間：月～金曜 8:30～19:00 / 土曜 8:30～17:00

第二東和会病院 TEL：072-674-1008（代表）

東和会いばらき病院 TEL：072-623-0234（代表）